



ほんじつ ～本日のおすすめの本②～

『ポリぶくろ、1まい、すてた』

かだいとしょ
課題図書

ミランダ・ポール 文 さ・え・ら 書房(2019年初版)

*この本は E(絵本)の書棚にあります。(貸出可能)

西アフリカの小さな村で、主人公のアイサトは、ポリ袋を1枚捨てました。いつもみんなが使っている かごは、捨てる時、やがて、土にかえるのですが、ポリ袋は、何年たっても、土にかえることはありません。

時は流れ、アイサトは大人になりました。ある日、1ぴきのヤギが、悲しそうななきごえをあげていました。おばあちゃんのはなしでは、人が捨てたポリ袋をヤギが えさだと間違えて、食べてしまうのだそうです。

ポリ袋は、プラスチックでできていて、たいへん便利なものですが、捨て方を間違えると、それを えさと間違えて食べてしまう生き物がたくさんいます。

それは、陸の上だけではなく、海の中でも同じことです。

アイサトは、捨てられたポリ袋をひろいあつめ、よく洗い、乾かして、細く切って紐にしました。アイサトは友達にも呼びかけます。「ポリ袋の紐で編んださいふを作りましょう」と。

アイサトの元へ だんだんと 人が集まりはじめます。そして、アイサトたち女性は、リサイクルのすばらしさだけでなく、働くことのすばらしさを知るのです。

アイサトの生まれ育った村は変わっていきます。

SDGsの「5:ジェンダー平等を実現しよう」

「12:つくる責任・つかう責任」

「15:陸の豊かさを守ろう」

「17:パートナーシップで目標を達成しよう」

…などにも関連します。



ねんせいだいしょう
3・4年生対象



アイサトさんの活動は、次の URL で見ることができます。(英語です)

<https://climateheroes.org/heroes/isatou-ceesay-queen-plastic-recycling-gambia/>

(アイサトさんと仲間たちの様々な活動を紹介した写真と動画)